

発行所

東京都江東区  
越中島3-3-1

東京都立第三商業  
高等学校同窓会

編集 同窓会事務局  
電話 (3641)0380

# 三商同窓会報



No.37



## 感謝する日々

校長 津守 四郎

同窓会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より母校の教育活動に格別のご支援・ご協力を賜りましてありがとうございます。

昨年11月1日(土) 澄みきった秋晴れのもとで、創立70周年記念式典を厳粛且つ盛大に執り行なうことができました。これも偏に、母校を愛される同窓会員の皆様を初めとしてPTA、旧教職員等の皆様のご尽力の賜であり、心から御礼と感謝を申し上げます。

「都の空は明けたり」で始まる三商校歌の大合唱は今なお強く心に残っています。

お陰様で、生徒・教職員ともども本校の輝かしい歴史と伝統を再確認し、次なる80周年を目指して新たなスタートを切ることができました。本当にありがとうございます。

さて、この度の同窓会の役員改選にあたり、会長都築健一様、副会長窪田甚之助様のご勇退になられました。これまでの温かいご指導と強力なご支援に深く感謝申し上げます。

なかでも会長都築様には、戦後同窓会発足時から副会長として、更に昭和60年から今日に至るまで会長として、実に半世紀を越えて母校の充実・発展のために献身的

に寄与されました。特に、会長にご就任後、平成2年の新潟・六日町山寮改築と本年3月末日での山寮閉鎖(低金利時代にあつての「三商会」資産の価値的運用、入学・卒業式での後輩への心温まる激励の数々、そして70周年記念式典を初めとする各行事の実行委員長等をお務め頂き、まさに東奔西走の日々ではなかつたかと存じます。「母校のため、恩師のために」という固い信念でのご活躍はただただ敬服するばかりであります。永年のご労苦に衷心より御礼と感謝を申し上げます。ご勇退の皆様には今後とも陰に陽に母校を応援して頂きたいとお願いいたしますと共に、ますますのご多幸・ご長寿をお祈り申し上げます。

本年2月末には、会長都築様のお誘いで初代校長吉沢徹先生の、同じく6月初旬には10期・12期の皆様と2代校長今村直人先生の、お墓参りにご一緒させて頂きました。

周年行事のご報告、そして三商の今日ある事に深く感謝しつつ合掌して参りました。

50年間続けられた初代校長先生の墓参会、今なお続けられる2代校長先生の墓参会を思うとき、人と人のつながりが稀薄な現代において、このように永遠に生き続けている師弟の絆に頭が下がり

ます。純粹にして高潔な情熱で、生徒の澄んだ心に分け入り、心を尽くして指導された校長先生のお姿に学ばないを深くいたします。

ところで、今村先生との出会いは大学3年の時でありました。慈愛溢れる先生に励まされた幾つかの思い出は、私も終生忘れることはできません。稀有の師に巡り合い、今、先生が心血注がれた学校で働かせて頂けることに感謝すると同時に、その責任の重さを痛感しております。

前号でもご紹介しましたが、課題のない時代は無いといわれますように、都立高校も現状の課題解決のための改革が進められています。商業高校においても志願する生徒の減少、労働市場への大卒供給量の増大、日々高度化するビジネスの知識・技術の習得に商業高校の30単位の授業での対応、社会の変化に対応できる逞しい人材の育成等、課題は山積しています。

昭和29年2月の三商新聞で今村先生が贈られた、卒業生へのはなむけの言葉に「平凡の内に幸福を求められたい、しかし、平凡の内幸福は無限の努力がなくては求められないことを銘記して頂きたい」と綴られております。先達のご労苦に感謝すると共に、その教えを胸に刻み、教職員と一体となり、どこまでも生徒の幸せを願い、商業教育の探求に努力を重ねてまいります。最後になりますが、新会長神谷武志様はじめ新役員・会員の皆様には今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますと共に、ますますのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

### 平成10年 離任教職員一覧表

職名	担当	氏名	転出先	赴任在籍期間
教頭	経営	飯島 篤	南(校長)	H6. 5. 1 4年
教諭	商業	阿久澤克朗	荒川商業	S61. 4. 1 12年
	商業	宇佐美恒明	葛飾商業	H4. 4. 1 6年
	商業	八巻明雄	葛飾商業	H5. 4. 1 5年
	英語	市川恵子	江北	S60. 4. 1 13年
	英語	徳永恵子	城東	S60. 4. 1 13年
	英語	深田恵子	光ヶ丘	S61. 4. 1 12年
	社会	山田 進	山田大	S63. 4. 1 10年

職名	担当	氏名	転出先	赴任在籍期間	
教諭	商業	高野友治	江東商業	H2. 4. 1 8年	
	家庭	近藤悦子	都立大付	H2. 4. 1 8年	
	商業	山田和人	葛飾商業	H3. 4. 1 7年	
	商業	森田聖一	赤坂(教頭)	H5. 4. 1 5年	
	英語	柏倉 均	芝商業(教頭)	H9. 4. 1 1年	
	商業	足立一郎		H5. 4. 1 5年	
	実習教諭	理科	高倉喜代子		S63. 4. 1 10年
		主事	戸田良一	北砂小	H9. 4. 1 1年
			宇澤鉄雄		H5. 4. 1 5年

# 就任に当たって



会長 神谷 武志

この度会長になります八期の神谷です。「伝統ある三商同窓会長の器に非ず」と再三固辞したのですが、指名委員の種々の説得と、卒業直後に当時「校友会？」と称していた会を「同窓会」と改称する為の規約の制定等々に、一期の故野村一介先輩を座長に学校の会議室で又廻田の野村氏宅で熱心に討議した事、戦後昭和二十三年三十年を期した名簿の作成に参画した事等を思い浮かべ、之又何かの因縁とお引受けした次第です。

今まで副会長として都築会長の下でノホホンと過ごして参りましたが、今会長としての重圧をヒシヒシと感じて居ります。盛大に七十周年を祝った三商、

同窓会の皆様益々清栄の事とお喜び申し上げます。私は本年六月の同窓会総会にて会長を退く事になりました。戦後間もなく第一代校長今村直人先生がわざわざ小生宅をお訪ねになり、混乱期の同窓会の協力を依頼されました。私も兄弟三人が三商にお世話になりましたので、副会長としてお手伝いする事になりました。

又六十年には岡田前会長より私に会長のお話しがあり、当時小学校の同窓会会長をしてあげましたので、迷った末お引受致しました。同窓会入りをしてから五十年過ぎ、会長も十二年になります。初め四、五年の予定でありましたが、六日田山寮の替地移転問題が町当局から三回もあり、これの交渉や引続き山寮改築を手掛け、又全国高校スキー大会の候補地として町当局から買収の申入れがあり、これも不況の影響で立ち消えになり

# ご挨拶



前会長 都築 健一

ました。財団も最近の政府の低金利政策の為基本財産を一時は二倍にも増やしたのが一転、この三年間毎年四千万程度の赤字が三年も

続き、このままでは数年後には財団の運営の危機が予想されますので、理事長にご相談しリストラの

これからも八十年、百年と続けてしよう。しかし二十一世紀を目前に社会の変化は目覚ましいものがあります。教育界も又しかり、只三商はその変化の核となる存在でなければならぬと存じます。同窓会も学校と協力してその実を結びたいと思います。六十五期、二万四千名を有する



# 着任に当たって

教頭 相川 勲彦

現在、高校改革真つ盛りの状態にあります。昨年度末から、東京

大世帯の同窓会です。しかも三商を最終学歴とする者が多いだけに、頗る愛校心に富んでいるのは心強い限りです。会務についても所々改新を加え御要望に応じた運営を致したいと存じます。諸兄の御協力を切にお願い申し上げます。

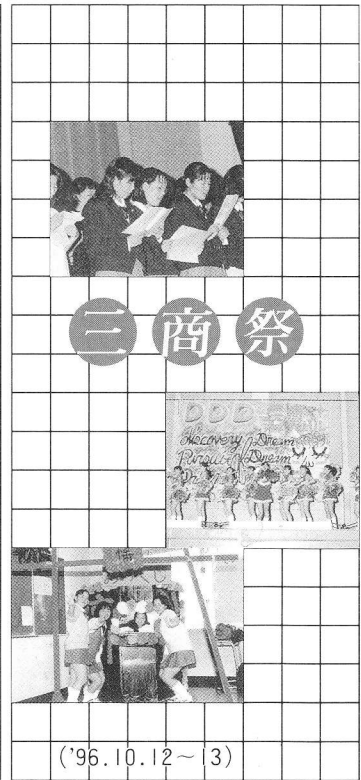
都では九つの基本計画検討委員会を発足させ、総合高校(普通科とカ商業科、工業科とカの垣根のない高校やチャレンジスクール(午前や午後など昼間にも通うことのできる定時制高校)など、ニュータイプの学校づくりに着手しました。九つのうち、商業高校に關係しているものは五つにも上り、改革の中心となっています。

為、思い切つて山寮の閉鎖取壊しを決定、六月から実施する事になりました。年内には今後の運営方針も解決する予定です。当初予定の会の若返りも遅れてしまい、皆様にご迷惑を掛け申し訳なく思っております。昨秋には母校創立七十周年式典を実行委員長として所期の目的を果たす事が出来ました。長い間幹事の皆様のご協力お力添えに感謝申し上げます。その間同窓会の皆様には色々なご縁が結ばれ、私にとつて一番の喜びであります。同窓会も戦前戦中戦後の激しい時代の変化を受け、今後の組織の運営に色々な問題があることは周知の事実です。今後同窓会が新会長を中心とし輝かしい伝統の三商から時代を先取りした学校の将来に一層のご支援を賜りますようお願い致します。重ねて皆様の多年に亘るご厚情に御礼申し上げます。

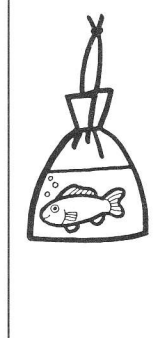
桜水商業は永福高校と一緒に岡高は忍岡高校と一緒に、元の鞘に納まるというふうには、高校のリストラルチャリングが行われるわけです。定時制だけではなく、赤羽商業と池袋商業は北園高校の定時制とともに、城北高校に吸収され、チャレンジスクールとして生まれ変わります。定時制独立校の栄光を誇ってきた深川商業も東高校などの定時制を集めて、チャレンジスクールとして再出発することになります。しかも、これで終わりではなく、

これから第2弾や第3弾も打ち出され、第二商業高校がその標的にならないという保障はありません。教育目標を達成するためには、絶えず教育内容、教育方法、あるいは施設設備など、ありとあらゆるものを再点検し、改善を図っていくことが必要です。教育内容については、学校完全週5日制に向けて、第二商業の教育はどうあるべきかを検討するための委員会を設置し、既に検討を始めました。教育方法も三商会計人会の力添えにより市民講師による教育が始まっています。施設設備についても、恵まれた施設設備をより一層活用するため、今年度は東京都より校内研修改善推進校に指定され、部活動の活性化に取り組むことにより実現させていきたいと考えています。そして、自分で課題を見つけ、学び、考えることによつて、主体的に判断し行動もして、問題を解決できる生徒を育てることによつて、第二商業高校の存立に危うくないよう精一杯努力いたします所存です。東京の西、国立市に所在する第五商業高校の定時制で4年間教頭を勤め上げて参りました。その粘り、どのような困難にも対処して行くつもりですので、同窓会の皆様のお力添えを、どうぞ、よろしくお願いいたします。





た  
よ  
り



### 「豊洲運河を 見て十二年」



阿久澤 克朗

教室、職員室から見る豊洲運河、時々筏が通り過ぎ、また、鳥が飛び、何となくのどかな景色で私は大好きでした。昭和六十一年四月から平成十年三月定年退職まで十二年間お世話になりました。十二年前は十クラスあり、生徒数は千二百名位で、私は進路指導部で同じ年に赴任した深田先生と水谷、松田両先生と四名で、就職状況も現在の超氷河期と違つて好景気で売手市場だったことを思い出し、歳月の違いを感じさせます。さて、進路指導部を経て、担任、生活指導部等、最後の年は長い教員生活で一度も経験しなかつた厚生部の仕事をさせていただきました。いろいろな思い出がありますが、担任では、昭和六十二年の一年生の

移動教室で、一泊三日の日程で体験学習として福島県白河農協の協力を得て、トマトの芽かきや、しいたけの植えつけなどの農業体験を行い、生徒は農家に泊り、今となつては懐かしい景色の移動教室でした。生活指導部では、平成二年公私立間わず、各学校とも制服改定時にあたり、現在、向島商業高校の佐藤勝子先生を中心として制服検討委員会がつくられ、いろいろな経過を経て現在の制服に変わりました。厚生部では、平成九年十月より、有害物質タイオキシンの発生により、焼却炉の使用が中止となり、ゴミの分別の徹底ということで、教室等へのゴミ箱の設置、分別当番を置き、赤坂、西田両先生と協力して貴重な体験をさせていただきました。

また、硬式テニス部の顧問として、二月に三寺、吉田両先生とOB、OGが「私を送る会」を開催していただき、大変嬉しく懐しく思いました。また、学校開放では、平成七年五月から三回テニスコートの開放の仕事をさせていた

き、現在、五団体にになり、少しもお役に立てたかと思つております。長年にわたり、二商で出会つた方々に感謝申し上げます、第三商業のますますのご発展を祈つております。

### 二商とのご縁



宇佐美 恒明

平成十年三月三十一日付をもつて、三十六年にわたつた教師生活に終わりがきました。

振り返れば、昭和三十六年六月本校に明治大学からの教育実習生の一人として実習を受け、当時の教務主任、八田吉次先生・教科指導担当の磯川運良先生・ホームルーム指導では、竹田一郎先生に大変お世話になりました。

年長だった私が、代表で「簿記」の公開授業を行いました。担当の磯川先生はもとより、諸岡理司・吉田久登・斎藤克先生など大先輩の前で大いにながつてしまひ、とても恥ずかしい思いをしたことを今でも鮮明に思い出します。

その年、教員試験に合格した私に三商・京橋商・上野忍岡から採用打診の電話が入りましたが、もとより三商への思いが強かつたので本校に決めました。

これが縁の始まりにならうとは「神のみぞ知る」ところです。

スタートは定時制でした。当時は、定時制全盛の時。地方からの勤労学生達で活気に満ちていました。一学級二百名で千名近い生

徒が通学して、校舎は不夜城のごとく煌々と輝いていました。

当時の定時制主事（現在では教頭）は、社会科の東山由美先生でその関係から本校が「都社研」（東京都社会科研究会）の事務局となつていました。早速、事務局の会計担当をさせられ、全日制の服部頼雄・古暮正雄先生とも親交を深めることができました。

たしか昭和三十七年秋の頃かと思いますが、竹田一郎先生と東海道新幹線試乗会に同行させて頂き、国府津〜鴨宮間、三商編成で座席の設計も一両ずつ異なる試作車でしたから、子供のようにはしゃいだことを覚えています。昭和三十九年東京オリンピックの年に全日制に転勤となり、直ちに杉原勇太郎先生率いる三十四期生の担任団九名の一員となりました。同期に国語科の宮坂善三先生があられました。最初の修学旅行は三商編成で専用列車を仕立てての東北一周旅行。男鹿半島の旅館に到着し、部屋に用意された浴衣に着替え、やれやれと一息入れるのも束の間、同室の私より十八歳年上の椎名義明先生はワイシャツにネクタイという出で立ちで、生徒の部屋を飛び回っているところで、「コリヤイケネー」と部屋に取つて返し、ネクタイ姿に戻り、何食わぬ顔でその場をつくりました。

ところで同室の椎名先生は、上着とスポンを脱ぎはしたものの、ワイシャツにネクタイのまま床に入りましたので、私も右へ習わざるを得ません。明け方、外のちよつとした物音に、先生はガバツと跳ね起き、生徒の部屋へ見回りに行く場面を目の当たりにして、

引率者の責任の重大さを身をもつて教えられました。

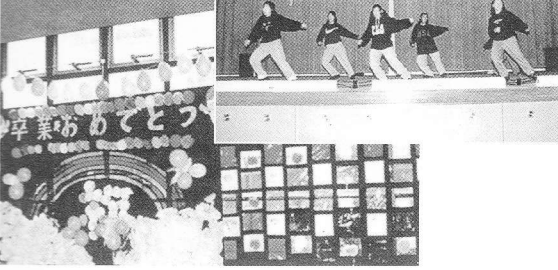
続けて三十七期の桜井定夫学年に加えて頂き、職員旅行の帰りに藤沢の広々としたお庭のあるお宅に大勢してお邪魔したことを思い出します。美術の横山文夫先生も一員でした。昭和三十九年当時スリング部の生徒をモデルにした「汗」という彫刻の作品が「日展」において特選に入選し、その作品が先生の郷里の香川県にある瀬戸内海を見下ろす高台の「五色台」という公園に建っています。中国・四国地方への修学旅行では、生徒全員が先生の作品とご対面するという今では得難い思い出となっています。

また、続いて四十期生の椎名義明先生の学年に所属し、通算連続九学年にわたり学年に所属できたことは私にとりこの上ない幸運でした。

昭和四十九年四月流山市に転居したのを機に、小学校四年から住み慣れた江東区新大橋の実家を離

### 予 饞 会

('97.2.18)



れ、同時に都立葛飾商業高校へ転勤となりました。

そして、十八年後の五十四歳の時に再び故郷三商に戻して頂きました。

残り六年間の前半三年間は六十二期生、松田夏樹学年の八名の担任団の一員となり、若い先生方に助けられ、明るく健康的な三商生と巡り合うことができ大変楽しい思い出となりました。

最後の三年間は、PTA活動の仕事に携わり、最後の年に創立七十周年行事の校内担当に選ばれました。坂倉敏夫・津守四郎両校長のご指導のもと、都築健一同窓会長・玉木国夫潮陽会長・野本牧穂全日制PTA会長・田畑重喜定時制PTA会長を中心とする実行委員会の献身的なご協力を賜り、「有終の美」を飾ることができたことを大変うれしく感謝しています。

また、記念誌編集に当たりましては、十期の竹田一郎・十二期の古暮正雄両先生の献身的なお力添えを賜り頭の下がる思いでした。教員生活二十六年のうちの十八年間を三商でお世話になり、この不思議なご縁をかみしめています。

さらなるご縁では、第二代校長今村直人先生からは明治大学において「商業科教育法」を学び、十五期生で前明治大学学長の岡野加穂留先生からは、私が深川二中在学中に大変歯切れの良い授業で強烈な印象を受けました。

三商の同期会は年配の方々を中心に盛んですが、私の最初の卒業生二十四期生は、幹事の三川廣志君を中心にとて良くまとまっていて、下町三商の良さが現在も脈々と息づいています。一つの

例として同期で結成した会員三十名のゴルフコンペ「TOS会」があります。いま、三十四期生は五十歳ですが、二十七歳の頃から続いていて、現在八十八回を終えて進行中です。私も一年前から仲間入りをさせて頂き、過分なるハンディをいただき優勝の機会を与えてもらいながら果たせずにいます。この弟師愛(師弟愛をもじって)に感謝感激です。

思いの浮かんてくるままに、取り留めのない文章になってしまいました。私の愛する都立第三商業高等学校のいやさを願うペンをおかせて頂きます。本当に長い間ありがとうございました。

物故された今村直人・諸岡理司・服部頼雄・吉田久登・東山和美・杉原勇太郎・横山文夫・磯川運良・椎名義明先生のご冥福を改めてお祈りします。



市川 恵子

### 三商での十二年間

昭和六十年四月以来、十二年もの長い間多くの先生方にお世話になりました。

振り返ってみますと、この十二年間で本当にいろいろなことを経験し私の教員としての青春時代はこの三商と共にあったといえます。

この間、10クラスも生徒がいたり、制服が変わったり、会計料が出来たり、帰国生徒を受入れたりと、さらに60周年・70周年と一度も創立記念式典を経験したりと今思うと

本当にありがとうございました。

### 三商の思い出



徳永 恵子

昭和六十年四月、三商に赴任し、転職組の私は、教員として遅いスタートを切りました。それから、二年間のプランクを含め、十二年の長きに渡って三商にお世話になりました。決して順風満帆という日々ではありませんでしたが、六年間の担任と分掌を経験し、教員として育てて頂いた心から感謝しています。また、心温かい先生方、下町つ子らしい人懐こい生徒達に囲まれ、楽しく充実した日々を送ることができました。

レンガ敷きの三商ロードを歩いていた私が、今、大島緑道を歩きふと、満開になった雪柳、葉桜、つつじの花々、運河を行き交う船、夕陽でオレンジ色に染まった空に映し出される東京の風景等を、そこでの充実した日々と共にとても懐かしく思い起こします。三商は、卒業生がよく立ち寄る学校である理由がよくわかります。赴任当時は、クラブ活動が盛んで、また、行事に燃える三商として生徒が積極的に活動していました。三年になったら舞台という意気込みがあり、担任クラスの「天使にラブソングを」は最優秀賞に輝き、生徒各々の持つ才能と行動力には驚かされました。一、二年時には見られなかった成長ぶりを見せてくれるのも楽しみのひとつ

### 遠足



(’97.5.2)



でした。英語教師としては受験に縛られることなく自由に指導ができました。また全商スピーチコンテストには毎年優秀な人材が出場し、その堂々たる発表ぶりには、可能性の豊かさを感じられ嬉しい思いがしました。また中国帰国生徒担当をさせて頂き、異なる文化、生活習慣を持つ生徒達から多くのことを学び、外国語としてはなく、生活言語として外国語を習得し、生活しなければならぬ大変さを実感しました。国際化と言われていますが、こうした生徒と共にできた時、真の国際理解の一步になるのではと痛感しています。情報化時代が訪れ、マスコミの影響や携帯電話等の普及と共に、三商生の生活は大きく変化し、学校生活に目が向かなくなってきたことを憂慮します。しかし、三商生には是非、素晴らしい三商の良さを継承し、さらに伝統を築いていってほしいと願っています。三商で出会った皆々様に感謝を申し上げますと共に、三商の益々のご発展を心よりお祈りしています。有り難うございました。

### 三商の思い出



深田 恵美子

三商には十二年間お世話になりました。二十代の後半から三十代のほとんどを三商で過ごし、まさに教員生活の青春時代だったような気がします。

三商着任の頃はほぼ交通の便がよくなく、東西線しか通っていませんでした。私は当時東京駅からバスという昔ながらのルートを利用していました。私はなぜかバスに揺られるのが好きで、窓から移りゆく景色をボーッと眺めているのが好きなんです。だから地下鉄は好きではありません。土曜日の午後、時間にゆとりがあり、時間が合えば(一時間に一本か二本しか運行していませんでした)品川駅行きのバスに乗り、有明、船の科学館、お台場海浜公園を通り、海底トンネルを抜けるという一時間のバスの旅をしたものでした。当時のバス運賃はいくらだったでしょう。わずか百数十円で一時間もバスに乗っていられたら、名所をいくつも回り、しかも海底トンネルを抜けるという遠足気分が味わえたのです。今ではお台場もすっかり変わり、工事の様子をバスの中から目にしてきた私としては、わずか十年足らずの急激な変化にとまどっています。

とがありました。ほとんど英語のみの授業だったのでびっくりしました。そうか、そんなにすごい学校なんだ。とワクワクしました。商業高校でも普通科目、特に英語には重点を置いている学校というのが頷い文句でした。そのとおり、二年生から選択で英語がとれ、三年では必修と合わせて確か八時間近く英語の勉強ができた記憶があります。

時代と共に社会のニーズも変わり、三商も変わりました。昔をなつかしむようなことばかり書きましたが、あの時代だからできたこともあると思います。多様化していく社会の中で、名門三商がいつまでも名門三商でありますよう陰ながら応援しています。

### 一つの区切りを迎えて



高倉 喜代子

私はこの東京都立第三商業高等学校に10年間勤めて参りました。そして無事退職を迎えることができました。

このことにつきましては皆様のお力添えがありました事に感謝を申し上げる次第であります。皆様も存じのように私は体が不自由ですが、この学校で再雇用で五年間の勤務が決まりました。思い返せば不安も多々ありましたが、只々働きたい気持ちが強かったので頑張りましたし、三商生徒さんはとても親切で、私のことを差別することなく接して下さいました。

### 体育祭



('97.6.3~4)

また、学校も私の好きな下町の雰囲気があり、とても活気のある所でもありましたし、ここに通う生徒さんですから明るく、素直な方々ばかりでした。私が無事この三商に勤められたのも一重に心の優しい生徒さんばかりがいるからだと思います。

これからも皆様が楽しく学校生活を送られることを願い、これをお別れの挨拶とさせて頂きます。

### 三商での

### 二二年間のこと



高野 友治

三商での二二年間について書かせていただきますと、総務部に所属し、PTA活動での学校の窓口としての仕事をさせて頂きました。

ました。PTA会長野本さんを始め学年委員の方々、広報の方々、文化厚生の方々それぞれの活動も活発に行われている。学校は生徒達と授業、クラブ活動等を通じて接するだけでなく、父田の皆様とも繋がりができ、時の経つのも早く、大変充実した日々を送ることができ、楽しく二年間を過ごせました。私の担当の文化厚生では、三商祭への参加がありPTAコーナーでの作品展示(手芸講習会で手作りの作品)、他を行っている。また大きな行事でPTA研修旅行が行われ、一昨年は奥多摩に出掛け、川合玉堂美術館、吉川英治記念館をたずね多摩川散策もし、秋の一日をなごやかに楽し過せました。昨年は、観音崎灯台を見学し、三浦半島城ヶ島の「しびき亭」でまぐろづくしの料理で、カブト焼きは美味しかったです。

帰途鎌倉シネマワールドでは沢山見るものがあり、忙しかったがこれまた楽しく過ごせました。この懇談もでき、お互い知ることができ、理解でき、よりパイプが広がりました。父田の方々とも一日ともに過ごすことができるこのような機会の大切さがわかりました。学校での教育は、地域の方々、家庭の方々との繋がりの上で、子供の成長とともに願う。そして、生徒と同じく三商三商でのPの生活があり、同時に学校との意思疎通を図り進んでいることがわかりました。父田の方々とも生活をもにすることが、より生徒理解に繋がりが信頼関係も生まれるのでしよう。ことに三商のPTA活動は年間を通じ活発に行われていると強く

### 5組の思い出



近藤 悦子

私の手元に19枚の座席表があります。一九九三年四月入学の会計女子クラス、5組の三年間のものです。このクラスは私が唯一、三商で担任をした思い出深いクラスなのです。

入学当初は、朝のSHRで出席をとらなくてもよいほど遅刻や欠席のない42名でした。初めての三商祭も、担任はなにもないうちに夏休みの活動の計画まで立ててダンスの練習をするようなクラスでした。錚々たるメンバーの教科担任はほとんどが女性の先生方で、教科指導ばかりでなく女性の視点で生き方を示唆していただき、担任の力不足をぜひ補っていただきました。むしろ担任よりも熱心に接していただき、本当に感謝しております。

こんな順調な滑り出しだった5組ですが、1年生の後半から何となくがたがたしてきました。遅刻は増え進路変更を考えるケースも出てきました。クラス内の人人間関係もぎくしゃくし、女子クラス特

く感じました。そのことが、三商での生活がこの面からも過さず、居心地の良い環境をつくっています。三商から離れますとなお一層強くこのように感じております。今後、益々のPTA活動のご発展を祈念して筆を置きます。

有の「恥じらいのなき」のせいが教室も汚く、おしゃべりも多くなる。5組にとつて2回目・3回目になる三商祭もクラスが一つにまとまることなく終わってしまい、今思つと、担任があの個性派集団である彼女たちのよき理解者になりきれなかつたところに原因があるのです。もう少し長い目で彼女たちの行動を見ることができていたらと残念でなりません。

そんな中、1つだけ(？)苦勞することがなかつたのが座席決めです。担任としてはそんなにこだわることではないと思うのですが、彼女たちにとっては大問題のようで、2年生の4月から自主的なルールのもとに座席替えをすることになりました。くじ引きをするだけの簡単なルールですが、1ヶ月おきに席替えをするのでくじを絶対に交換しないこと、3年間一緒なのだから誰と隣になつても文句は言わないことというものでした。(これでみんなが一つにまとまるかとも思いましたが、結果は前述のようでした。)それでもいくつもある仲良しグループがクラスルールに基づいてバラバラに座つているという状況が2年間崩されることなく続きました。(もつとも授業中にヤミで交換していたこともあるのでしようが)19枚の座席表のうち14枚が、彼女たちが決めた座席です。

そして、私はといえば、年輪的に彼女たちのダブルスコアになり、また新しい職場で若い個性と格闘中です。

### 三商での 七年間



山田 和人

去る四月一日付で東京都立葛飾商業高校へ転任となりました。

三商在動中は、同窓会の皆様のほか、様々な方々にたいへんお世話になり、ありがとうございます。

私にとつて三商は、教員生活スタートの学校で、生涯忘れてはならない学校と言えます。着任当初は、周囲がよく見えず、ただ、若さとひとりよがりの情熱が空回りして、苦しんだり、先生方に助けていただいたり、一番大切な生徒たちに十分に指導できずに逆に教えられるといったことが多々あったことが思い出されます。

そんなスタートから、生活指導部で三年間と進路指導で一年間、そして、私にとつて教員生活の礎といえる学年担任での三年間とで七年の在職期間となりました。

現在、転任してから、数週間経過したところですが、こちら葛飾商業は、三商と同じ六学区の学校ですが、また違う意味で素晴らしい学校だと思っています。生徒達も元気で活気があり、先生方も意欲的で情熱的でも活動しやすい学校だと感じています。

三商での貴重な経験を絶対に無

駄にしてはいけません。全力で何事にも取り組んでいきたいと思っています。

同窓会の皆様、先生方、たいへんお世話になりました。第三商業の発展を同じ六学区から良い意味でライバル意識をもちながら、祈念いたします。ありがとうございます。

### 三商生活を 振り返って



森田 聖一

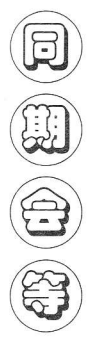
平成五年四月、三商ロードの満開の桜に迎えられ、私の三商生活が始まりました。着任当初、まさに新入生と同じように右も左もわからず、期待と不安の交錯する日々を送ったことを今でも鮮明に

記憶しております。

初年度、富田先生率いる進路指導部に籍を置かせて頂き、三商のキメの細かい進路指導を勉強させて頂き、「さすが天下の三商の所以ここにあり」と深い感銘を受けました。二年目、三年目と連続して進路指導部のお仕事をさせて頂きましたが、その原点は初年度に学ばせて頂いたものばかりでした。

就職指導にしろ、進学指導にしろ専門的な知識や豊富な情報、さらには的確なアドバイスなど私には到底及ぶことのできない、まさに専門家の職人芸を拝見することができて本当に幸せだったと思っております。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、平成八年四月、待ちに待った「一学年担任」になることができました。学年担任団六名、新入生二百四十六名の「新一学年」の船出です。希望に燃えた生徒達



### 三水会活動報告

土方 敏之

平成九年八月五日、一月総会にて役員改選を一任された上栢幹事長より、ようやくその人選が改され第一回役員会を開催しました。

会長 大橋秀雄(十三期)、副会長 上栢博(二十一期)、藤枝精治(二十四期)、会計 加藤晋一(二十八期)、金子公一(二十八期)、幹事長 土方敏之(二十九期)、幹事 北原昇(十五期)、中村一好(三十二期)。続いて九月二十日の東京

校歌祭について、参加を会員に通知する事と、その際三水会としては各期からの参加とする事を決める。秋の行事として本栖湖へのファミリー旅行を企画する事(担当は会長と土方)を決めました。

九月二十五日第二回役員会開催。秋の本栖湖旅行につき、中央区の研修活動の為に延期するので今回は中止して来春に延期する事。定時総会及び新年会を来年一月十日(十一日)に水上温泉「ホテル聚落」にて開催する事、その下見を行う事。母校三商の創立七十七周年式典が十一月一日に母校にて開催される事、それへの参加を会報を通じて会員に知らしめる事。会員

の顔を見ながら、担任団が思いを語ったことがつい昨日のことのように思い出されます。その生徒達と、授業、体育祭や三商祭などの行事、スキー移動教室、修学旅行など楽しい思い出いっぱい的一年間を過ごすことができました。これらの思い出は私の人生の良い一ページを飾ってくれるものとなるでしょう。

私は図らずも、平成十年三月にこの楽しく、そして充実した三商生活にピリオドを打たなければならぬことになりましたが、三商でお世話になった五年間を決して忘れることなく、また三商で学ばせて頂いたことを今後の学校生活に十分に生かしていきたいと思っております。

本当にありがとうございます。さらば・・・三商！

尾藤号 藤枝精治君がこの度の都知事表彰で農林水産功労賞を受賞されました。

平成十年一月十日、次の通り総会及び新年会を開催しました。午後二時築地本願寺前をバスにて出発。途中一回休憩し五時前に水上「ホテル聚楽」に到着。六時より総会開催。会務、会計報告の報告があり、承認されました。続いて六時三十分より新年会開催。水上の夜を楽しく過ごし、宴会終了後、室にて市場に関する諸問題を話し合いました。

十一日午前九時三十分、ホテル出発、トリックアート見学、ピードパーク見学して昼食会場原田農園へ、着いてすぐもちつきをし

て、そのもちに舌づつみをうちながらバーベキューを食へ帰途につく。

十年四月二日 役員会開催

総会及び新年会の反省では、時間的にも内容についても「よかつた」と評判が良いという事でした。続いて昨秋の延期された「ファミリ旅行」「本栖湖へのバス旅行」について六月二十三日四日に行う事を決定。コース、内容については士方に一任。

又、市場業務を離れた元会員より三水会の活動に参加させてほしいとの希望があるので、会として考えてほしいと提案があり。若い人の新規加入もない事と三水会はファミリという考えから参加できるようにしたいと決定し、会則を変更する事になりました。

四月十四日 役員会開催

会則変更について承認  
第四条 本会の会員は東京都中央卸売市場の業務に従事する者又はしていた者ならびに関係者で都立第三商業高等学校卒業生を以て会員とする。

第八条 本会の役員は総会に於いて会員中より選出する。但し、従事していた会員は選出されない。当会 大橋秀雄会長は春の叙勲に際し勲五等双光旭日章を授与されました。

五月二十日、築地市場遠海物業会長に、山和分店号 渡辺浩志君(十七期)が就任された。

都立三商三期 同窓会近況報告

三期世話人 田中 徳治

三期会は昭和10年3月6日帝國ホテル孔雀の間で開催の卒業祝賀

会の日発足しました。今日まで戦前、戦後を通じて少なくとも平均一年一回以上続けています。会の運営は故大前富太郎君が昭和55年10月6日亡くなるまで三期会、墓参

会の先頭にたつてこられたが彼の死により、若園豊君を中心に7名の合議制としてから13年間に及ぶ責任感の強い同君が重い病に侵され会務の続行が困難のため、合議に携わった諸兄と相談し、健康その他の事情もあり、田中(徳)が後任を託され平成6年引継ぎ今日に至っている。卒業生年表によると例名になっているが、現在会員数65名(消息不詳15名を除く)物故された会員10名であります。昨年新年会は29名出席、本年は一期の藤直商事社長にお願いし東京タワー前の同社経営の会場で開催、夫人及びご遺族を併せ27名の参加がありました。今年80〜81才の高齢となり65名の約半数の方は病氣入院中で療養いたしておる現状であります。旅行会は有志数名程度年2回行つております。

昨年三商70周年には6名、今回6月25日同窓会総会には都築健一、下田稔、小貝昂七、徳永浅治、田中徳治5名出席しました(30通発送)。都築健一君は9年余に亘り会長を務められ冒頭に挨拶を頂きましたが、三商同窓会のため献身的ご努力を頂いたことに対し同期を代表し厚く御礼申し上げます。長い間ご苦勞様でした。前会長一期の岡田一郎氏ともお会いしお話しを伺いましたが大変元気でした。次期役員のご紹介があり8期の神谷氏が会長を、副会長その他理事役員のご就任の挨拶があり盛會裡に閉会となりました。

平成十年度四期生会

黒須 康介

三期会報告を切に間に合わせさせて頂きました。  
四月四日丸の内「ボール・スター」に於いて四期生会を開催、二十八名が出席、本年大部分の会員が八十歳(卒寿)をむかえるが又来年も元気で会う事を約し散会す。



- 黒須康介 白井良一 石井 久
- 奥田康晴 長谷川幸夫 河内春雄
- 中根久太郎 浅川昇一 青木錦一
- 木村祐造 佐藤 豊 熊野利久
- 小木北辰 岡田利三郎 桜井道夫
- 吉塚 功 熊谷範一郎 小林源三
- 石田五郎 松浦健次 榊原弘一
- 鈴木豊一 鈴木信知 小島三郎
- 内藤六郎 森本作蔵 阿出川利一
- 福岡 正

六期会

黒澤 一雄

我が六期会は卒業以来母校教諭及び同窓会副会長として尽力された杉原勇太郎君がいたからこそ存

続してきたといつても過言ではない会である。お陰でその後も毎年開催しているが、昨平成九年度は四月九日アルカディア市ヶ谷にて二六名が出席。今年度は去る四月七日上野広小路「今半」にて正午より開催した。

我々の時代は戦死者が多く、特に最近では年齢と共に物故者も多く、現在八十名の会員中今回も体調不良者も増え、昨年と同じ二六名に止まった。  
当日は六期会名簿の改訂版と共に、先の七〇周年記念誌に掲載された昭和二二年五月六月間の皇陵巡拝産業視察旅行及び鮮満、中国旅行のコピーを配布し、且つ卒業以来初めての後藤輝三郎君の参加もあり、当時の思い出話にはながさき懇親を深めた。

尚、明後年の二十一世紀には、我々も愈々傘寿を迎えるのでお互いの健勝を祈りながら盛會裡のうちに午後三時散会した。



(当日の出席者)

- 井上一雄 井上幸太郎 石井安治
- 石川嘉兵衛 石黒正雄 江川義三郎
- 岡本増夫 海宝誠 久野鐘一
- 黒沢一雄 後藤輝三郎 下道吉夫
- 杉本尚 染谷福三郎 土田太喜蔵
- 永島富一 原島廣一 藤井彦吉
- 藤枝哲男 北條進 星光和 三澤勉
- 水原孝 宮城邦三 森幸彦
- 吉澤信次郎 以上

第23回 七期会開催

村田 邦夫

七期会の懇親会は第八回の昭和五十八年以降四月に開催していたが、今回は昭和五十年の第一回と同じの十月二十四日(金)の午後四時から日本橋たいめい軒に会員



三十名が集まり開催した。出席者は写真前列右より(敬称略)

- 横山隆一 原田伸一 黒田喜一郎
- 青木敏治 横山華久郎 鬼頭誠一
- 間々田良雄 浅川喜平 蓮見俊太郎
- 後列右より 吉井瑞雄 村田邦夫
- 丸山誠一 高野秀男 中川哲 宮城貞一郎 松井一郎 稲村繁 小

平安雄 福田健一 中島清也 奥住市夫 市村陽 寺田光逸 川口三蔵 車重三 村田恒太郎 長瀬正夫 服部博吉 熊谷俊太郎 荒井貞次

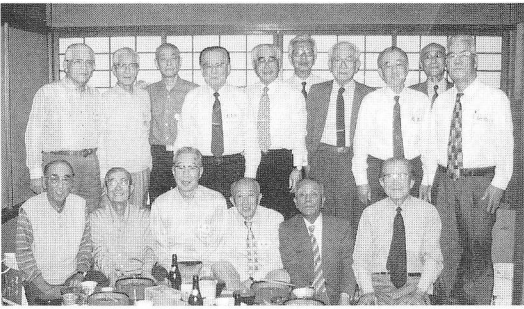
従来当日の出席人数の変更に弾力性を持たせるため等で立食としていたが、高齢化などのための要望に心えて椅子席の小皿料理とした処、懸念は杞憂に終わり、従来より盛り上がり好評であったかと思われる。今年の二十四回は卒業六十周年と満年齢の喜寿を祝い、来る十月二十二日(第四金曜日)開催を予定している。

### 八期会

神谷 武志

十月二十二日 於駒形「とせう」幹事 北原一郎、小林恭一郎

夜の会は今回が最後となるので、校歌第三節の「江戸の誇りを継げる我等」にちなみ、駒形「とせう」にて開催。とせうに抵抗を感じる向きもあり、出席が少なく十八名。「とせう鍋」「柳川」「とせう汁」



に下町の味を満喫した。土産の芋羊羹、あんこ玉を持ちタワシに分乗、吉原「松葉屋」に至りオイヤンションを貸切りで観賞、山形斎藤君の客人振りが堂に入っていた。女性を中心に記念撮影して解散。次回からは昼の会となる。

### 十期会

荻野 文雄

平成十年五月二十三日(土)午前十一時半から、神田淡路町の割烹「萬代」(同期の古田泰治郎君経営)で開催。来賓として井上速雄・笹岡恒三両先生にご臨席を頂きました。



明治の俳人・正岡子規の句に「春風や人の波うつ淡路町」がありま

す。須田町を中心に万世橋から神田川に沿った此の一带が盛り場と

して賑わった様が偲ばれます。現在も萬代の他にも、風格ある店構えの名代の蕎麦屋・料理屋や洋食屋が軒を列ね、旧き良き東京の味を伝えています。オールト映画ファンには昌平橋の傍にあった名画専門のシネマパレスが懐かしい。

世話人代表は、六フラスから選出された世話人の輪番制で、山崎順三君に代わり小谷松淳郎君を本年度の世話人代表に選任。同君から十期会報(年二回)に奮って寄稿されるよう要望があった。

昨年逝去された同期生、田中六

弥・砂川涉・小林久・勝田芳朗四君のご冥福を祈つて黙禱。

井上先生からは体験的的老人健康法の講話がありました。その一つが、十年前から実践されておられるという、心の内で軽く歩いて歩数を数える想念歩行で、そのお陰で血行がよくなり夜中に目覚めることが少なくなったそうです。笹岡先生はお久し振りで、受付で八十四歳の先生を同期生と間違える若々しさ。六十一年前、東大の学生服で颯爽と教壇に立たれた頃の体形と全く同じようにお見受けしました。写真がご趣味で、四季折々、近在近郊の花の名所を訪ねて歩き、写真を撮られるのがお楽しみで、それが健康法にも適しているとおっしゃいます。

一時過ぎ、高野忠男君の手締めで散会。

毎年、七十歳を越えても四十名前後の参加者があり、閑話、談笑することは、世話人一同にとつても励みであり喜びです。

萬代さんの屋懐石は流石でした。

出席者 41名

- 飯島武敏 石川喜一郎 石丸豊多郎 岩佐一男 岩崎功 大森文吉 岡本幸金 加島精四郎 金沢武佑 神谷恭正 木村一雄 國定健一郎 小池善四郎 小島正義 小島通敬 五島彪 小谷松淳郎 佐々木博夫 白石實 関岡功夫 高野忠男 竹田一郎 刀川文雄 田中利雄 筒井守 中一 橋本武 蜂葉東一 平野欣一 福田猛 古川恵一 古田泰治郎 帆足誠 正藤正雄 松岡直春 松下義雄 持田政雄 山口正人 山崎順三 山田澤三 荻野文雄

### 卒業五十周年記念誌 「三商第十六期生の記録」刊行と同期会物故者慰霊祭の模様

眞中 康行

企画してから三年目の平成九年十一月一日、三商卒業五十周年記念誌「三商第十六期生の記録」(別項参照)が刊行され、三商創立七十周年記念式典当日御関係の方々にご贈呈されました。

これを機に、還暦後第八回目の三商第十六期同期会(通算約三十二回)並びに物故者慰霊祭が、同月十五日、午前十一時から港区新橋の新橋亭において、恩師四名(内藤幸次、成瀬三郎、矢島幸、古暮正雄の各先生)のご臨席と同期生四十四名の出席を得、次のように盛大に開催されました。

- 一、開会のことば司会 金田幸一
- 一、開会の挨拶 幹事代表 内藤 茂
- 一、卒業五十周年物故者慰霊祭 御導師 法華眞宗導師 眞中慈岳
- 一、来賓のご挨拶 恩師代表 矢島 幸先生
- 一、「三商第十六期生の記録」発刊の報告 石井群二
- 一、記念撮影
- 一、宴会 乾杯のことば・食前感謝詞 荒田 裕
- 一、新幹事指名・挨拶 新幹事代表 森川山麓
- 一、校歌斉唱 全 員
- 一、手締め 北原 昇
- 一、閉会のことば司会 金田耕一

物故者慰霊祭では、御塔婆を祀り、法華眞宗導師の眞中慈岳が御導師となつて御廻向(俗名または法名)による御塔婆供養)が厳修され、参加者一人ひとり白菊を献花しました。

御廻向の後、御塔婆について、「お経様(法華經)の中の尊い御言葉が記されてありますし、また御塔婆の裏面(手形で言えば裏書保証と同じこと)にも『一身一念遍法界』(その身その心も大宇宙と一つになつて成佛している)と記されてあります。もう何も心配要りません。」とお話がありました。諸精霊様方は勿論のこと今回はお読上げ出来なかつた諸精霊様方も必ずや大歡喜されておられることでしょう。

南無妙法蓮華經 府立三商都立三商恩師正定聚座 寶蓮華成等正覺位 廻向供養證大菩提矣 南無妙法蓮華經 府立三商都立三商諸氏現當二世有縁之法子 廻向供養證大菩提矣 (御塔婆裏面) 一身一念遍於法界

記念誌「三商第十六期生の記録」卒業五十周年記念一」の概要刊行の目的

第一に、先の大戦中及び戦後の激動期にあつて、在校した三商とはいかなる学校であつたのか、そこで如何なる影響を及ぼしたのか、三商第十六期生の思い出の一端を忠実に記録に留めること。特に、東京大空襲の最も大きな被害を受けた下町地区居住の私達同期生は、これを自らの悲惨な被災体験記録として後世に残すことが私達の義務。



第二に、三商の基礎を築かれた吉沢徹初代校長の御高恩を感謝申し上げ、第二代今村直人校長、清田栄一先生（後に第五代校長）はじめ諸先生方への御報恩の一端を「三商讃歌」として記録に留めること。

第三に、各々が苛烈に生きた人生の証として、子や孫あるいは後輩の方達に一読して頂けるならば望外の喜びであること。

- 内容構成
- 第一部 三商存学中の記録
  - 第二部 三商卒業後の記録
  - 第三部 資料編

冊子の体裁  
総頁数約六百頁、B5版上下二段組、普通装丁

古暮正雄先生の談話（要旨）  
「三商第十六期生の記録」は素晴らしいですね。皆さん方のご努力は大変だったと敬服します。亡くなった先生方も喜びましょう。今村先生、清田先生はじめ誠心誠意おやりになった。本当に有難う。



### 三商二十期

河原 啓介

都立三商20期会を5年ぶりに去る。五月二十日（金）午前十時半より。

上野のホテル、ソフイテル東京で開催いたしました。

毎回ご出席いただいた故今村直人先生、故清田栄一先生にお会い出来ない悲しさがあり、開催が2年も遅れてしまい、同期の皆様にお詫び申上げる次第です。皆さんの多数決により、3年から2年に一度の開催することに、決定いたしました。

同期の各クラス幹事の方々に去年から、2回集って打合せを致しました結果、約百名の出席がございました。特に今回久しぶりのため、おしゃべりの時間を多く持ちたいと云うことで、ゲストの方々をお呼び致しませんでした。今年卒業後45年になり、年令も63才、64才になります。又卒業以来初めて出席された方もあり、もしも道で擦れ違つてもお互に気が付かなかつたと思いました。

各クラスごとに、ステージに上り、近況報告の発表の後記念写真を撮りました。

話の内容も昔の青春時代の楽しいエピソードなど笑いの絶えない会場になってしまいました。全体の70%は悠悠自適組の方であり、現役組の一人として、大変羨らやましい限りでした。20期は三商に始めて女性が入学した期でありまして、当日酒巻さん、金高さん、鈴木さん、土屋さん、吉田さんの5名の淑女が出席いただいたお陰げで、華やかなテーブルになりました。又富田悦弘さんはご夫妻で出席いただき感謝致しております。着席にて京料理をいただきますが、の楽しい一時もアット云う間に時間が過ぎてしまいました。それから、テーブルごとのジャンケン

で勝った人10名が壇上にて決勝戦を行い、優勝、準優勝の方に景品が贈られました。

最後に全員が輪になって、肩を組んで、三商校歌と応援歌を合唱し、想出に残る楽しい同期会を終了し、2年後の再会を約束し、お互いに健康で過ごすことを祈って散会しました。



### 二十九期活動報告

土方 敏之

九月二十日の東京校歌祭に二十九期として参加を決め、各級幹事に参加要請、八月十八日と九月十一日の練習会にも参加する。

十一月一日母校三商の七十周年に参加。十一月十八日同期会開催（築地スエヒロ）。今回も卒業二十六周年記念誌石社を発行。次第、開会の辞 浜地昭雄、同期会長挨拶 伊藤武志、会務報告 亀田光昭、来賓祝辞 斎藤克先生、乾杯 熊川一夫、来賓先生祝辞 酒井吉彦先生、吉岡鶴義先生、東段時雄先生、稲田宏先生、集員得一先生、

記念写真撮影 伊藤茂、応援歌斉唱、校歌斉唱、閉会の辞 雨宮史武、司会 寺嶋祐三 渡辺勝  
当日出席者百一十一名、二次会場「味わい工房 銀座ゼボン」。

大賑わいの中に次回三年後の同期会にての再開を約しお開きとなりました。

平成十年一月二十三日、門前仲町喜寿司にて新年会を開催。同期会報告及び会計報告を承認。同期会終了後、次期会長を選出に移り伊藤武志君が引き続き会長に選出され就任しました。

### 「東京校歌祭」参加案内

担当 大嶽 清

校歌祭は、平成五年旧制府立中学（十二校）を主体とし、日比谷公会堂を会場に発足し、平成八年第四回の開催時には、廿一校出場者十名の参加のもと開催されました。昨年（平成九年九月廿日）第五回開催にあたり、府立商業系の参加の要望があり、三商と一商が要請を受入れ、廿三校の出場による名実共の校歌祭が実現しました。当日はOB六十名の積極的参加のもと、校歌そして応援歌を熱唱し参加他校より絶賛の拍手を頂きました。

本年の第八回の東京校歌祭は、十一月一日（日）後一時より、於日比谷公会堂にて主催東京校歌祭振興会後援東京都により開催されます。

### 三盛会（二十九期自家管組）

土方 敏之

平成九年七月二十六日、船堀なかざとにて総会を開催。会長及び会計の改選が行われ、会長に嶋田武次君、会計に井上晃男君が選出され就任致しました。

同窓生の方々の誘い合せで参加の程お待ちしております。



ふたたびの青春の聲

さわやかに 青坡

### 「倶楽部ハウスの新設を望む」

二十五期 柴崎 晴雄

本年五月一九日に開催された理事・評議員会（旧呼称は幹事会であった）は例年になく活発な意見交換がなされた。というよりも、議事の進行をめぐって審議が紛糾

する寸前の様相であつたといつた方が当つていよう。それは、役員改選の議案の承認に絡み、候補者は選考の段階から意見統一に乱れがあつたとされている。

しかし、事業会社や組合、団体の役員会ではなく、いふなれば同窓会の定期総会を準備するための役員会であるから、穩便に進行したいものである。

このたびの争点は、規約に則つた議事の進行上の動議とか、議長・事務局の役割分担の明確化に絞られようが、これらの提議の動機として、「この日の招集を受けていない理事が数人いた」候補者の選考方法が不明確、会長・副会長・監事ポストの定年制を規約に盛りこんだら、等々不規則発言が相次ぎ、議事の進行がスムーズに行かなかつた。

しかし、これらは重大な要素を言ふとは思えない。現在の規約が実情に不適合ならば、総会に諮つて改正すればよいし、将来、同窓会として収益事業を展開するなどの計画がない限り、現状の理事・評議員の員数をリストラ(減員)して、員数を規約に明記するのもよいだろう。各期一人(一時期は三人であつた)の理事・評議員は多すぎ、年一回の開催費も小さくはない。それにも増して事務局業務の大変さは表面では評価されない苦勞があることを知っている。今回のように綿密に準備された議事のシナリオも安易に壊されては苦勞が捻らないことになる。

以上のことから、上位三役、事務局、理事・評議員相互間の風通しの悪さが蓄積していたことに起因しているのではなからうか。

約十年ほど前に廃案となつたものであるが、再度、同窓会専用の「倶楽部ハウス」を設けてはどうか。全員誰しもが気軽に立ち寄れて上下はばかりず懇談の機会が持てるには、例えば、帝国ホテル内の「東京三田倶楽部」、ラフチョウビル内の「成城クラブ」のごとく名門校は概して立地の良いところにクラブ集会所を持つ。我が同窓会も、昨今の不動産事情から格好の施設を得られるチャンスである。何ら利権のともなわない同窓

### 杉原先生と椎名先生の思いで

本校旧職員 長谷川 正男

私が三商に勤務したのは昭和二十五年四月からで、四十六年十月に転勤するまでの長い年月に及びました。その昭和二十五年は全商協会の珠算実務検定試験が実施されることになり、準備委員として

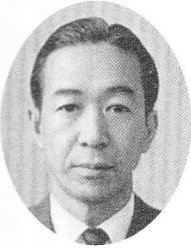
会のために「風通しを良くする」意味においても、ぜひ会長はじめ先輩各氏のご努力に期待して「倶楽部ハウス」の取得にご尽力願いたいと望む者のひとりである。その意味では、私の個人見解としては、役員定年制には全面的反対はせず、加えて、世代の中のある当同窓会を三分割することは同窓会の存在意義を喪失するのでナセンである。会員は老若男女を問わず共同体であるべきである。

三商から杉原先生と私が委嘱されました。四月に赴任したばかりの私が外部の仕事を引き受けるのは常識はずれでしたが、三商の先生方が承諾してくださつたので、ご迷惑をかけることが多いまま、委員に出張してました。

その十一月に第一回の検定試験が実施されまして、予期以上の成果を得て完全に軌道に乗りましたため、委員を増やして専門委員とすることにりましたが、四商のベテラン椎名先生がその新委員に加わつたのです。

しかもその後には椎名先生の三商へ転任が決まりましたので、三商は教科担当三人が全商の専門委員という特例の形になり、珠算界で三商の二人組とか三羽鳥などと言ふようになりました。奇しくも三人とも大正九年の生れでして椎名先生が三月生れなので、学年長で

### '63 卒業アルバムより転掲



杉原先生



椎名先生

### 平成9年度同窓会収支決算書

(自平成9年4月1日 至平成10年3月31日)

収入の部	
前年度繰越金	12,280,006
会費(¥7,000×219人)	1,533,000
利息(普通預金・定期預金)	35,664
雑収入(会員名簿)	4,500
合計	13,853,170
支出の部	
70周年負担金	2,000,000
理事・評議員会	230,151
校歌祭	277,145
同窓会報	346,815
慶弔費	132,500
事務局運営費	120,000
卒業記念費(220人)	159,750
協議会参加補助	410,000
次年度繰越金	10,176,809
合計	13,853,170
次年度繰越金内訳	
普通預金残高	¥1,806,231
定期預金残高	¥8,370,578

監査の結果公正妥当であることを認めます。

平成10年5月29日  
会計監査 小川博敏 大嶽清

一年先輩です。椎名先生はクラブ活動の珠算部の強化に意欲的で、その熱心なのは、杉原先生と私は驚嘆して、椎名先生の企画に従つて、二人でお手伝いするようになったものです。夏の合宿練習なども企画どおりに時間割厳守で完全実施しましたし、場所も海辺や林間など、椎名先生が民宿や特別施設に交渉して、すばらしい所を選ばれたものでした。

その成果はすぐにはあらわれませんでした。昭和二十九年に全商主催の全国高校珠算競技大会が開催されましたとき、三商は団体二位、個人総合競技は木曾和子君が優勝、ほか何人も入賞者を出し、翌年の第二回大会も団体二位を得、毎回優勝候補に上げられながら、三回つづけて団体二位という不運はありましたが、毎回優勝校が変つていながらの不運ですから実力は全国で屈指と評価されました。両先生とはよく旅行しました。職員旅行はもちろんのこと、全商委員会の旅行や、全国大会出張など、いつも宿では三人が同部屋でした。

杉原勇太郎先生は平成五年三月十日に逝去されました。

椎名義明先生は平成十年三月六日に逝去されました。本年三月で先生のご誕生日が近い日でありました。

末文になり、重ねて両先生のご冥福を祈ります。